

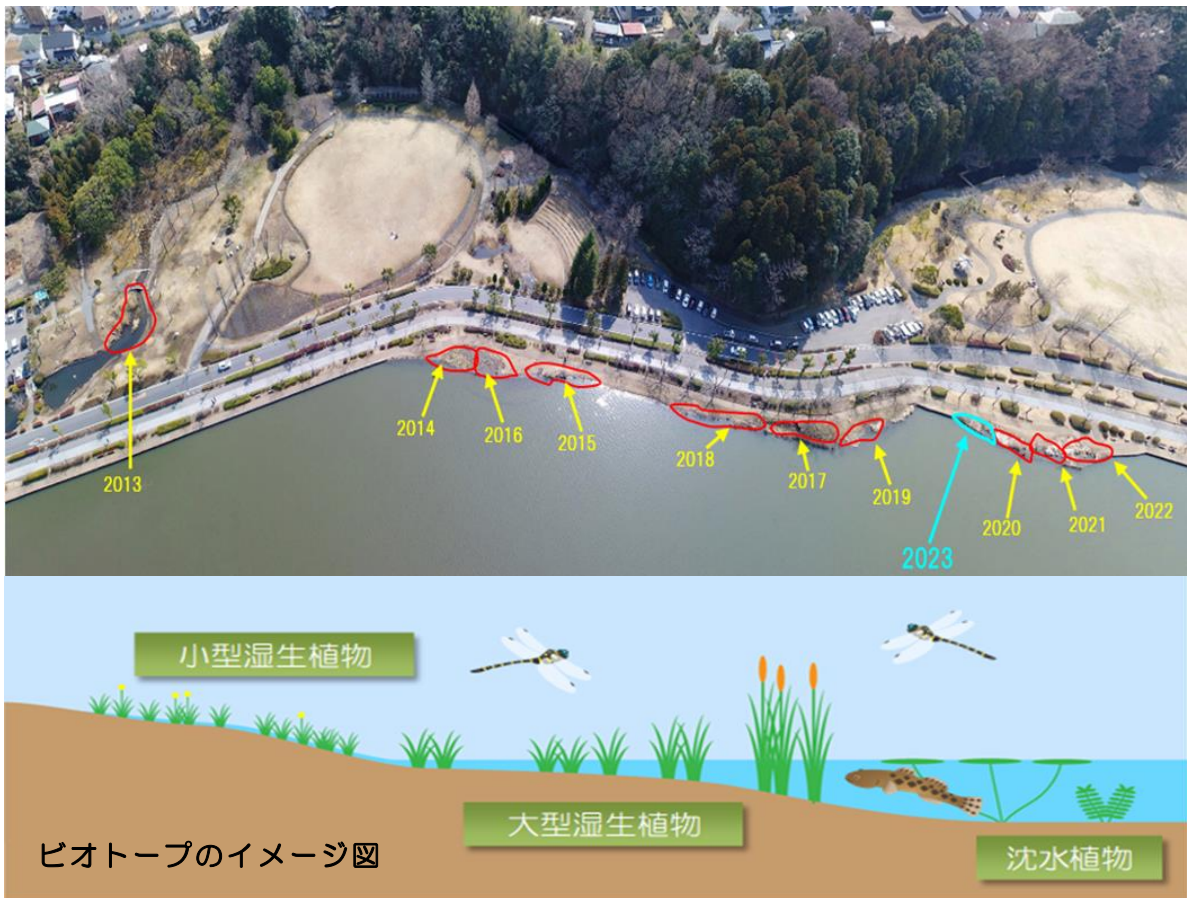
ビオトープをつくろう

～第2回千波湖環境学習会～

千波湖環境学習会では千波湖の水質浄化を目指していくため、水戸市関係各課を交えて協議を行い、2012年度からビオトープの造成を行っています。

ビオトープは、特に窒素分を植物が吸収する水質浄化効果、水生生物が多く定着生息できる生物多様性の効果が期待できます。毎年6月に親子約200人が学習会に参加していただき植栽しています。これまで造成された千波湖南岸のビオトープは周囲3kmの湖岸のうち、約300m区間で昔の千波湖を象徴する湿地帯に再生しています。

以下に、毎年のビオトープ学習会を通じて造成してきた箇所を示します。



2. 本年度の概要

千波湖南岸のさくら広場横駐車場前1カ所とし、面積：幅30m×前面3m

●ビオトープ湿地の造成 5月20日～24日

湖面に接していない陸地を除草⇒掘り込み⇒植栽の手順でビオトープ化した。



● 植え込む植物の採取 5月26日～28日

植物の提供は毎年逆川子どもエコクラブの子供たちが担ってくれています。クラブが保全している千波湖周辺のホタル再生地より、本来、ホタルを守るために抜き取られ処理される予定であるガマ100本、ショウブ720本、ホタルイ200本、セキショウ2,000本の約3,000本を採取し、現地に運搬。



● 学習会当日 6月4日

当日は多くの親子連れに参加いただき、ビオトープ造成を行うことができました。



あいさつ及び提供品等ご協力いただきました、ありがとうございます。

共 催：千波湖水質浄化推進協会

飲み物：逆川エコクラブ様 有限会社沼田クリーンサービス様

文 具：株式会社フットボールクラブ 水戸ホーリーホック様

お菓子：東部燃焼株式会社様